

### 環境調査結果のお知らせ

令和3年3月25日午前から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

#### 概況

漁場環境は水温が17.0～17.5℃、塩分が33.7～34.6、溶存酸素量が6.6～8.7mg/Lでした。  
湾内の透明度は3.5～7.0mで、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で0.29 cells/mL確認されました。

#### 水温と塩分(表1・2)

水温は17.0～17.5℃、塩分は33.7～34.6でした。  
前回調査時(R3.2.10)と比較して、水温は全層で0.5～1.0℃上昇し、塩分は全層で0.1～0.9低下しました。

#### 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.6～8.7mg/Lでした。  
前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から2m層で0.5～0.6mg/L増加し、5m層から底層で0.1～0.4mg/L低下しました。

#### プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は3.5～7.0mでした。  
検鏡の結果、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で0.29 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

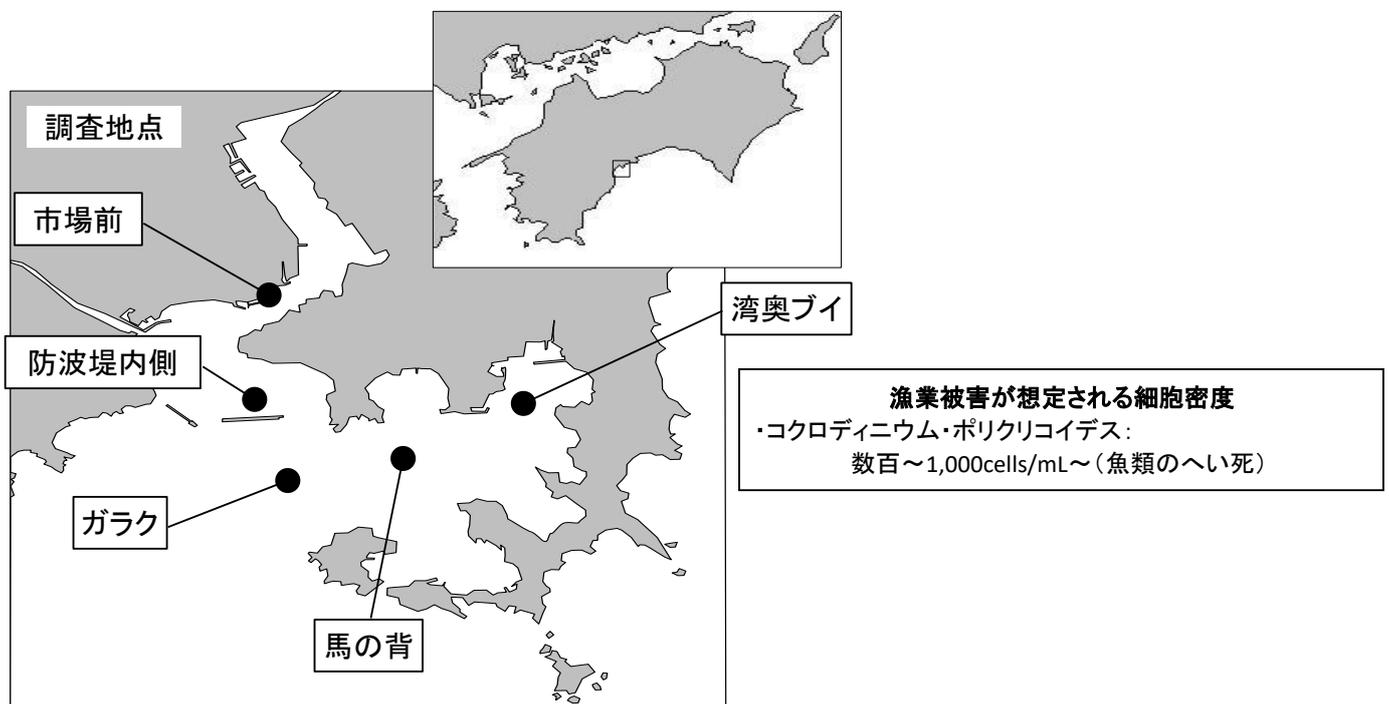


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.2.10)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	17.4	17.3	17.0	<b>17.2</b>	16.7	0.5	16.2	17.4
2m	17.4	17.3	17.2	<b>17.3</b>	16.7	0.6	17.5	17.5
5m	17.3	17.3	17.3	<b>17.3</b>	16.5	0.8	17.4	17.5
10m	17.2	17.3	17.5	<b>17.3</b>	16.4	0.9	17.3	-
B-1m	17.2	17.2	17.4	<b>17.3</b>	16.3	1.0	17.3	17.4

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.2.10)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	33.9	33.9	33.7	<b>33.8</b>	34.7	▲ 0.9	26.5	31.6
2m	34.0	34.0	34.0	<b>34.0</b>	34.7	▲ 0.7	33.2	31.9
5m	34.2	34.2	34.3	<b>34.2</b>	34.7	▲ 0.5	34.1	34.0
10m	34.4	34.3	34.5	<b>34.4</b>	34.7	▲ 0.3	34.3	-
B-1m	34.5	34.6	34.6	<b>34.6</b>	34.7	▲ 0.1	34.3	34.3

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R3.2.10)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	8.6	7.6	8.2	<b>8.1</b>	7.5	0.6	8.5	8.0
2m	8.7	7.4	7.8	<b>8.0</b>	7.5	0.5	8.9	8.0
5m	8.1	7.4	7.6	<b>7.7</b>	7.8	▲ 0.1	8.8	8.1
10m	6.6	7.5	7.9	<b>7.3</b>	7.6	▲ 0.3	7.3	-
B-1m	7.1	6.9	7.4	<b>7.1</b>	7.5	▲ 0.4	7.2	7.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.7	24.9	19.3	11.2	10.0
透明度	6.0	6.0	7.0	4.5	3.5
前回(2/10)	7.5	9.0	11.0	6.0	4.0

表5 プランクトン(cells/mL)

		コクロディニウム・ポリクリコイデス	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0.02	170
	2m	0.13	280
	5m	0.02	180
馬の背	0m	0	220
	2m	0	150
	5m	0	240
ガラク	0m	0	410
	2m	0	280
	5m	0	510
津波防波堤内側	0m	0	15
	2m	0	370
	5m	0	600
市場前	0m	0.00	30
	2m	0.04	290
	5m	0.29	310